

平成25年度

相談支援に関する取組について

平成26年10月17日

三条市地域自立支援協議会連絡調整会議

1 連絡調整会議（事務局）について

(1) 開催回数

11回（毎月1回程度）

(2) 出席者

市内相談支援事業所（4か所）及び市担当者

(3) 内容

- ア 地域自立支援協議会（全体会）の資料調整
- イ 事業所情報交換会の開催に関する事
- ウ 相談支援ケース検討会の開催に関する事
- エ 相談支援に関する課題の整理

2 相談支援ケース検討会について

(1) 開催回数

6回（隔月1回）開催

(2) 出席者

市内相談支援事業所、県高次脳機能障害者相談支援センター、地域包括支援センターなどケースの関係機関等

(3) 内容

- ア 相談支援専門員の抱えている実際のケースについて事例検討
- イ 検討を通じた、相談支援専門員のスキルの向上
（支援方法の振り返りや社会資源の活用についての検討など）
- ウ 検討結果から見えてきた相談支援の課題の整理

3 事業所情報交換会について

【特別支援学校等卒業後の進路に関する情報交換会】

- (1) 開催日 平成25年6月6日（木）
- (2) 出席者 三条市在住の生徒がいる特別支援学校等の進路指導担当者、市内障がい福祉サービス事業者等
- (3) 運営 連絡調整会議
- (4) 内容

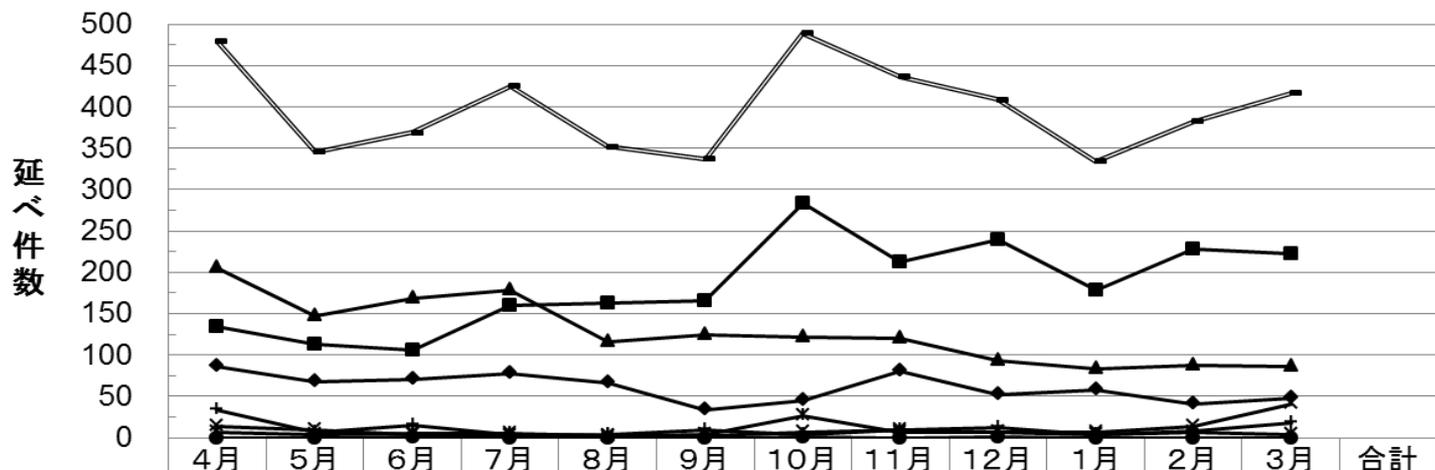
特別支援学校等の進路指導担当者と市内の障がい福祉サービス事業者、相談支援事業所で、進路希望状況やサービス事業所の空き状況等について情報交換

4 相談支援活動の状況

(1) 相談件数の推移

- 相談件数は知的障がい、精神障がい、身体障がいの順に多い傾向にあります。
- 相談件数の最も多い知的障がいは、全体の約46%を占めており、サービス等利用計画の作成が本格化した10月以降は、月平均227件に達しています。
- 発達障がい、重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他※は全体の約6%で相談件数は少ない傾向にあります。

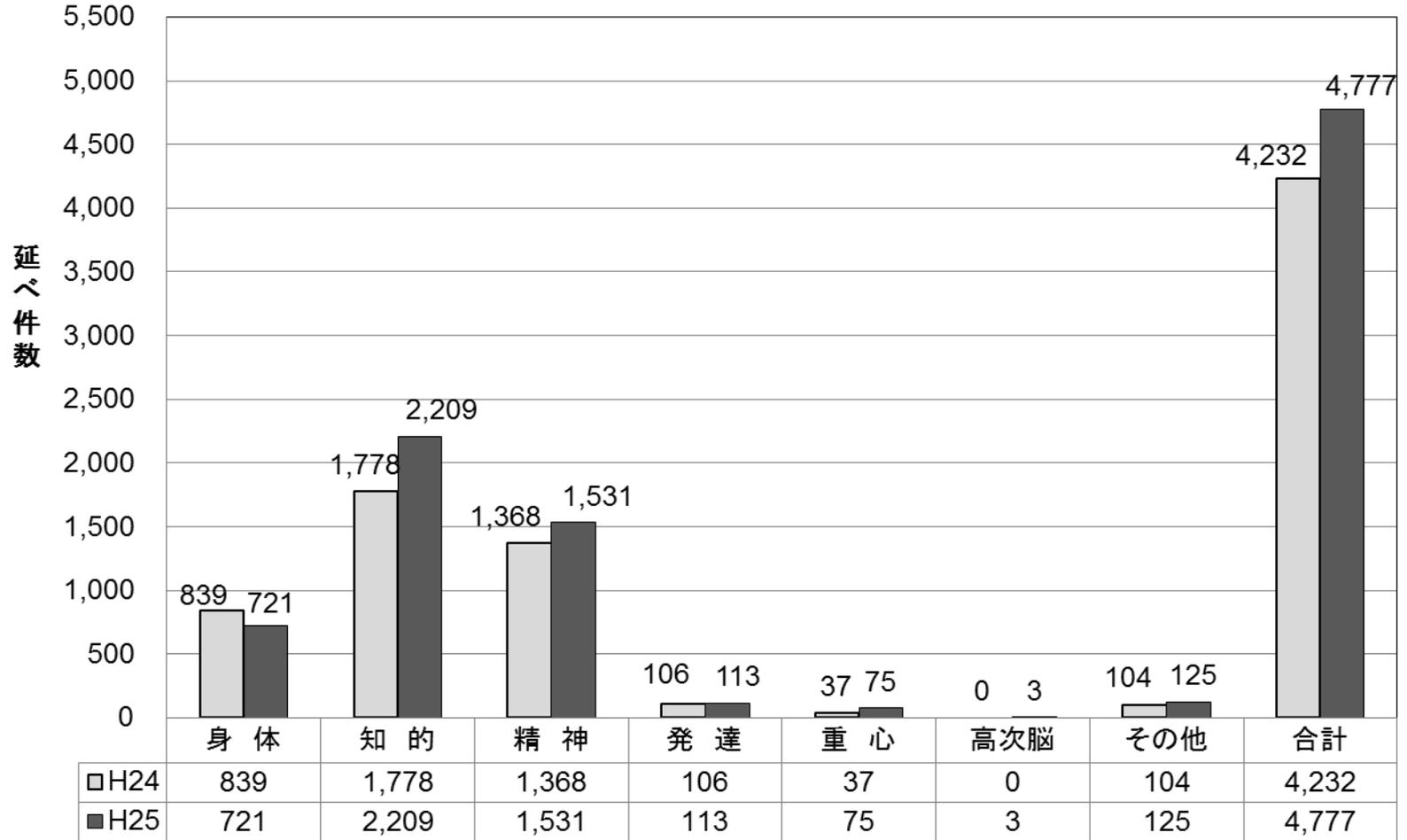
※「その他」とは、障がい手帳をお持ちでない方や自立支援医療（精神通院）を受けていない方を含む。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
◆身体	86	67	70	77	66	33	45	80	52	58	40	47	721
■知的	135	113	106	160	163	166	284	213	239	179	228	223	2,209
▲精神	206	147	169	178	116	124	122	120	93	83	87	86	1,531
✕発達	13	9	3	2	1	2	7	9	6	7	14	40	113
✱重心	6	3	5	5	2	3	26	6	6	4	6	3	75
●高次脳	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
＋その他	33	7	15	3	4	9	4	9	12	3	8	18	125
—合計	479	346	369	425	352	337	489	437	409	334	383	417	4,777

(2) 相談件数の比較

■相談件数を平成24年度と比較すると、身体障がいを除いた全てが増加しています。



(3) 相談内容の傾向

相談内容別で見ると、障がい福祉サービスの利用に関する相談の件数が多く、全体の46.4%を占めています。障がい種別全てにおいて多い傾向にあります。

また、身体、知的、精神障がい別では、主に次の傾向が見られます。

- 身体障がい 不安の解消・情緒不安定に関する相談が、他に相談に比べ、特に多い傾向にあります。

- 知的障がい 健康・医療、生活技術及び不安解消・情緒不安定に関する相談が多い傾向にあります。
 また、他の障がい種別に比べ、権利擁護、家族関係・人間関係及び就労に関する相談が多い傾向にあります。

- 精神障がい 不安の解消・情緒不安定、健康・医療に関する支援の相談が多い傾向にあります。
 また、他の障がいに比べ、障がいや病気に関する相談が多い傾向にあります。

各障がい別・内容別の相談件数については、7～8ページに掲載しています。

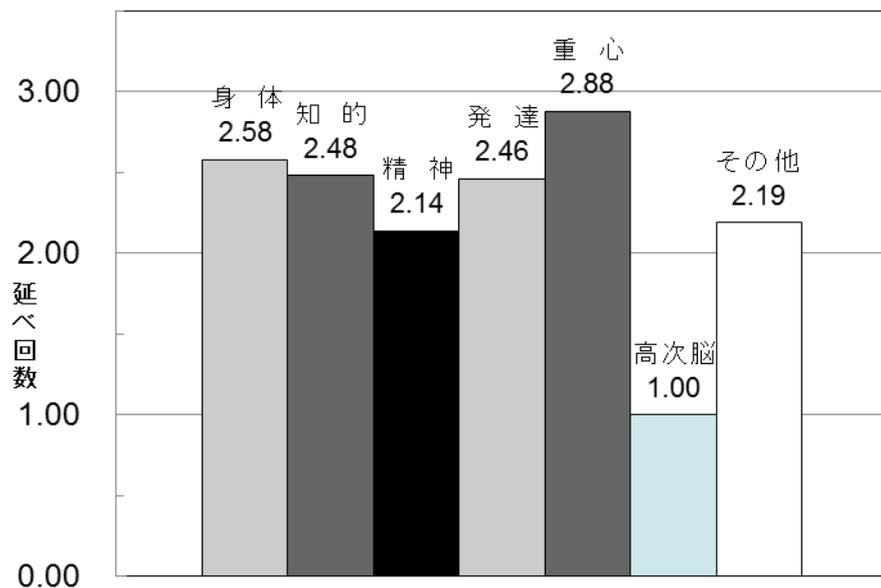
(4) 相談内容集計表

1/2

種別	相 談 内 容 別					
	福祉サービスの利用等に関する	障がいや病状の理解に関する	健康・医療に関する	不安の解消・情緒不安定に関する	保育・教育に関する	家族関係・人間関係に関する
身体	407	13	56	180	9	6
知的	1,039	46	215	138	15	113
精神	601	150	215	326	3	46
発達	48	13	4	22	5	6
重心	52	1	15	3	2	0
高次脳	3	0	0	0	0	0
その他	67	10	10	11	5	6
計	2,217	233	515	680	39	177

種別	相談内容別					
	家計・経済に関する	生活技術に関する	就労に関する	社会活動・余暇活動に関する	権利擁護に関する	その他
身体	11	16	9	3	4	7
知的	63	166	106	60	149	99
精神	20	94	40	8	6	22
発達	3	7	5	0	0	0
重心	0	0	0	0	0	2
高次脳	0	0	0	0	0	0
その他	8	0	6	0	1	1
計	105	283	166	71	160	131

(5) 1人当り月平均相談回数

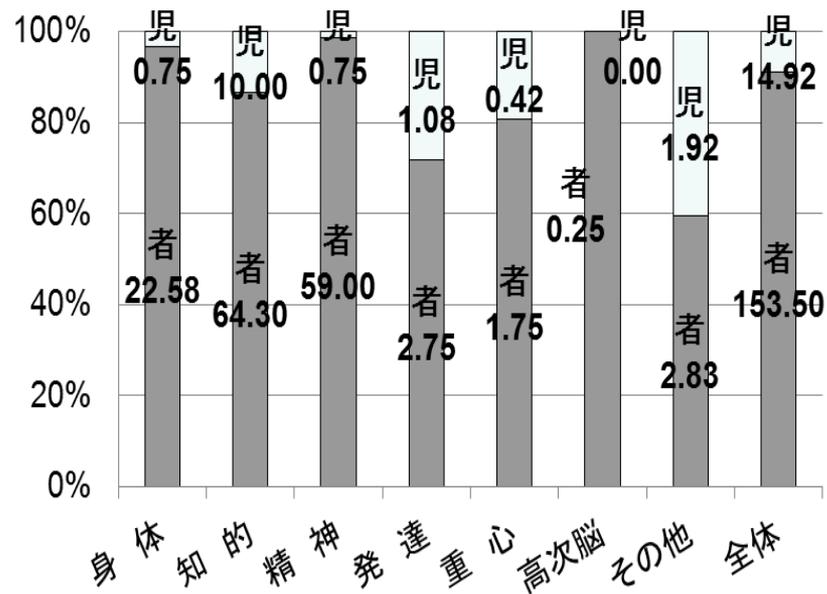


- 平均相談回数の多い順から重心、身体障がい、知的障がい、発達障がいと続きます。
- 平均回数が最も多い重心は **2.88回**です。

○ 算出式

$$\text{平均相談回数 (月単位)} = \frac{\text{延べ相談件数の合計}}{\text{相談実人数(月単位)の合計}}$$

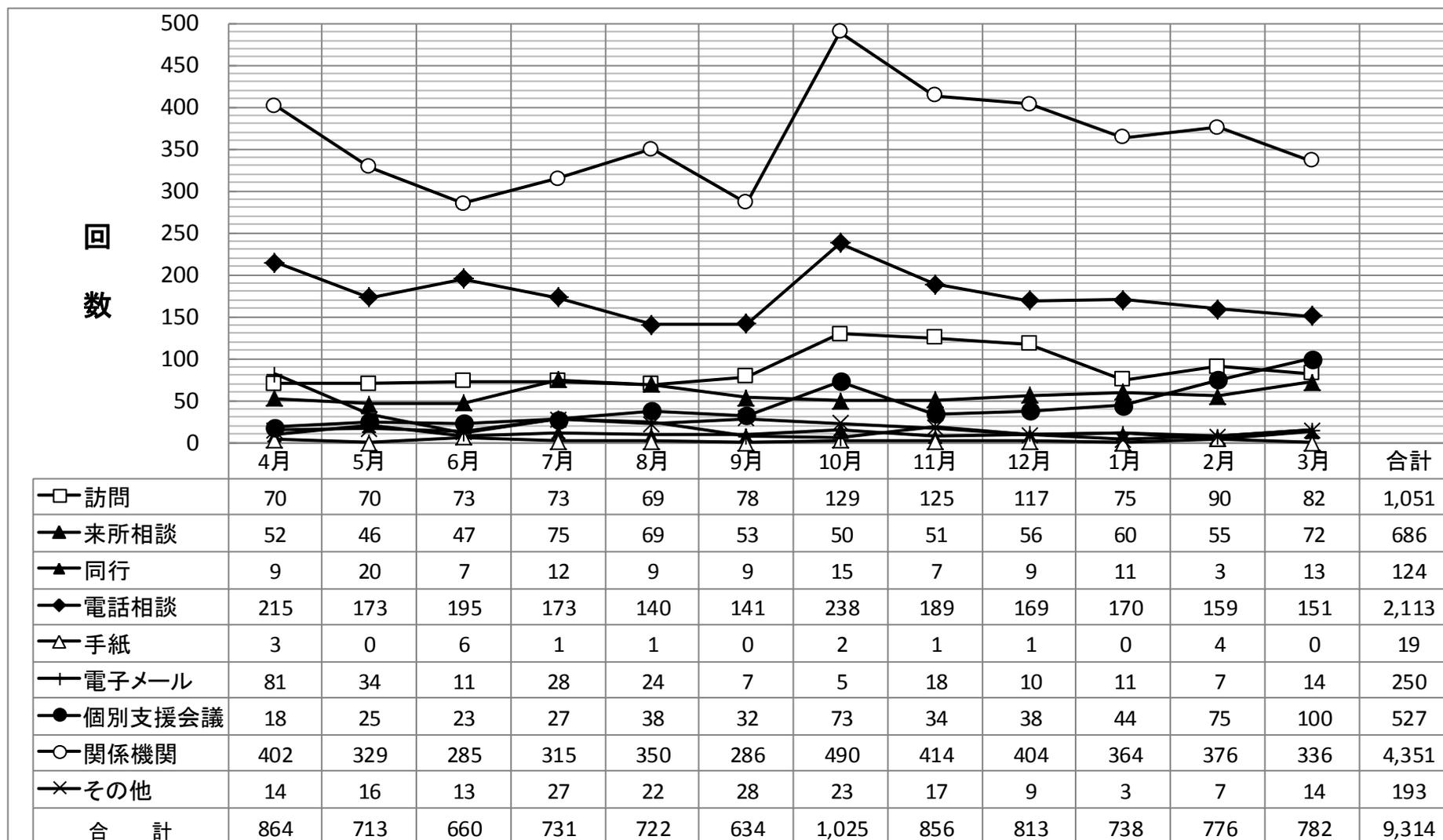
(6) 月平均相談実人数



- 障がい種別に応じた月平均実人数の割合です。
- 1か月単位で最も相談人数が多いのは **知的障がい者**で、**64.3人**となります。

(7) 相談対応の実績

- 対応回数は関係機関（病院・保健所・施設等）との連携、電話相談の順に多い傾向にあります。
- 支援回数の最も多い**関係機関との連携**は、全体の**約47%**を占めています。



(8) 相談対応の比較

- 対応を比較すると、障がい種別に関わらず、関係機関と電話相談が大部分を占めています。
- 知的障がい、精神障がいは他と比べ、電話相談の割合が大きい事が特徴です。

